

## 塙保己一記念館

郷土の偉人が残したものとは

塙保己一は、盲目という大きな障害を抱えながら、「群書類従」の編纂や「和学講談所」の設立など数々の偉大な事業を成し遂げた、本庄市が世界に誇る偉人です。アスピアこだま内に新設した記念館では、塙保己一の業績、故郷とのつながり、ヘレン・ケラーとの関連などの展示に加え、2種類の映像が用意されています。

開館時間  
午前9時～午後4時30分

休館日

月曜日（月曜日が休日の場合は翌日）、年末年始



## 雉岡城跡（城山公園）

歴史と自然を体で感じる

雉岡城は別名を八幡山城といい、戦国時代に関東管領山内上杉氏が築いたと伝えられます。

天正18年（1590年）に豊臣秀吉の軍勢のために落城、徳川家康の関東入国後、家臣松平清宗・家清父子が城主となり、関ヶ原合戦後松平家清が三河国吉田へ移されると雉岡城は廃城となりました。現在は公園となり、春には桜の名所となります。



晩秋  
×  
児玉

# まちななかを、歩く

健康のために歩く、  
学ぶために歩く  
＝新たな自分、新たな発見

歩くこと。それは足腰を鍛え、脂肪を燃やし、脳を活性化させる有酸素運動のひとつ。その手軽さから、老若男女問わず、誰でもできるエクササイズとして、現在注目が高まっています。歩くことで体の健康促進をはかるとともに、地元の良いところを再発見しに出かけませんか。

## Voice

堅苦しくせず気軽に歩く

「歩くことは脂肪燃焼だけでなく、脳の活性化やメンタルヘルスの改善にもつながる」と話す井田さん。知り合いの公民館の館長から、ウォーキング教室の指導者を頼まれたことがきっかけで「ウォークこだま」に入り、20年。月1回程度のウォーキング活動を仲間たちとともにやっている。

「目標を決めて、これだけ歩くぞ、と堅苦しくせず、歩きたいときに歩きたいだけ気軽に歩くことが大切」と長続きの秘訣を語る。「来られるときに一緒に歩きませんか」と、まだウォーキングを始めてない人たちにメッセージをくれた。

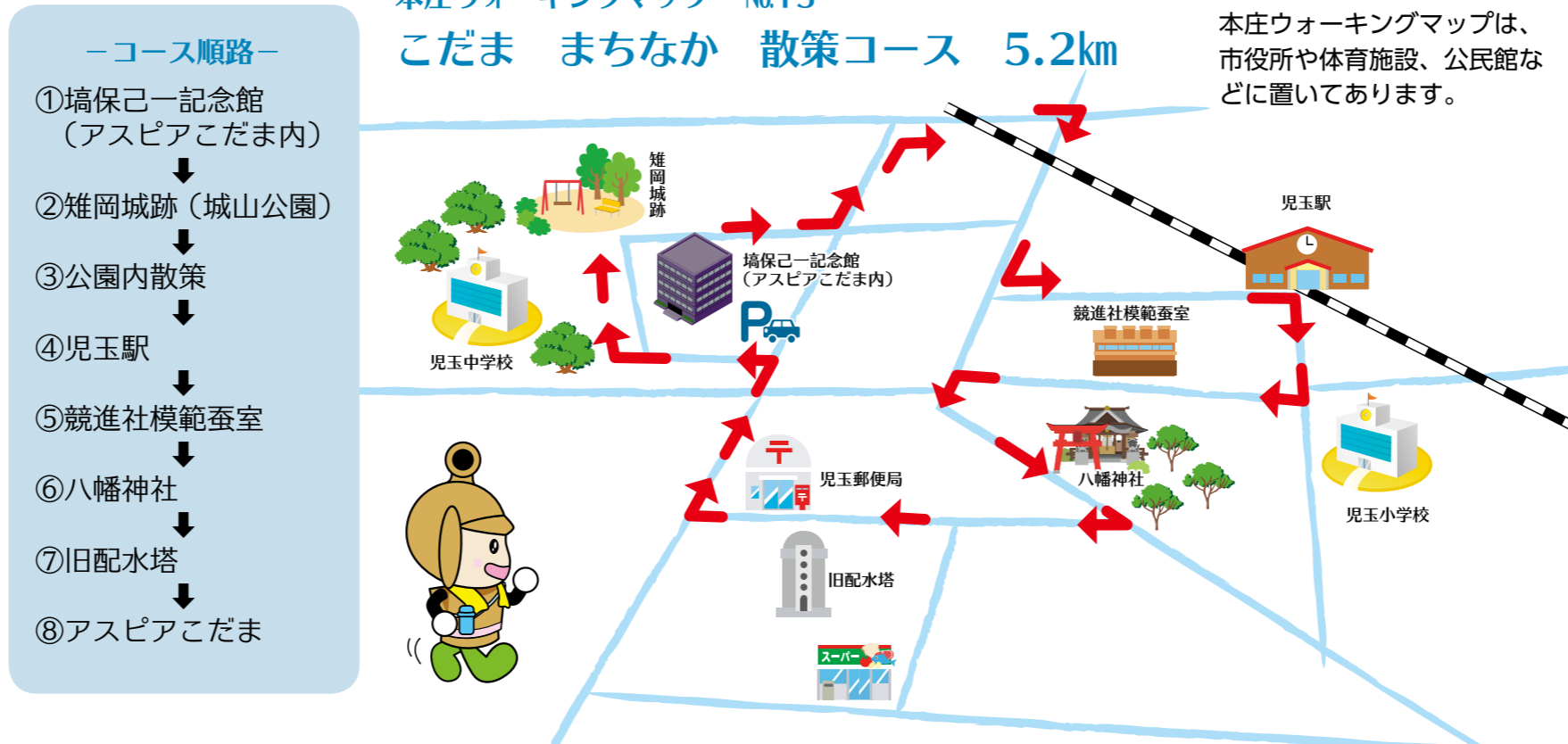


ウォークこだま  
井田 隆雄 さん

本庄ウォーキングマップ No.13

こだま まちなか 散策コース 5.2km

本庄ウォーキングマップは、市役所や体育施設、公民館などに置いてあります。



## 八幡神社

国家安泰・厄除開運

永承6年（1051年）に、源義家が奥州合戦の際にこの地に立ち寄り、祭壇を設けて戦勝を祈願し、勝利後再び立ち寄って石清水八幡宮を勧請したと伝えられています。当初は児玉町八幡山に鎮座していましたが、戦国時代の雉岡城築城を契機に現在の地に移転されたと言われています。

現在の社殿は江戸時代の享保7年（1722年）に完成しました。



## 塙保己一記念館 × 競進社模範蚕室 スタンプラリー

塙保己一記念館のリニューアルオープンを記念して、両館の来館記念スタンプを集めた人に記念品（不織布製本庄市オリジナルバッグ）をプレゼント！いずれかの施設で配布するスタンプ台紙を受け取り、両館の来館記念スタンプを集めて、どちらかの施設に提出してください。※どちらの施設も駐車場がありますので、車で回ることもできます。

期間 11月14日(土)(休館日を除く)  
から記念品がなくなるまで

配布数 1000枚

★企画課 ☎ 1157

3 平成27年11月1日号

バッグデザインの説明

かつて日本有数の繭市場であった本庄市。その歴史が現在まで広がるイメージを流れる生糸で表現。「HONJO」の「O」には繭玉をイメージしたデザインがあらわれている。



## 児玉町旧配水塔

埼玉県最古かつ唯一の塔型配水塔

児玉町市街地に水道水を送るため、昭和6年に建てられた配水塔です。昭和30年まで使用され、その役割を終えた後も地域のシンボルとして親しまれ、平成12年には歴史的建造物として国の登録有形文化財になりました。



## 競進社模範蚕室

世界遺産に匹敵する歴史的遺産

明治27年に木村九蔵が設計・建築した養蚕専用の蚕室です。4部屋構造で、各室に炉及び吸気口が設けられ、「こまがえし」と呼ばれる格子状の天井が特徴です。内部には、養蚕業やそれを支えた人物たちを紹介するパネル展示があります。

開館時間

午前9時～午後4時30分

休館日

月曜日（月曜日が休日の場合は翌日）、年末年始

